

令和7年度第1回 留萌市子ども・子育て会議 会議録(要旨)

○開催日時

令和7年7月3日(木) 午後6時30分～午後7時20分

○開催場所

留萌市役所 3・4号会議室

○出席委員

伊端委員(会長)／塚田委員(副会長)／峨家委員／長尾委員／鈴木委員／
鳴海委員／竹内委員／安達委員／村山委員／堀口委員／ (順不同)

○留萌市教育委員会事務局

吉田教育部長

中村子育て支援課長／加藤子育て支援係長／佐伯子ども家庭支援担当主査／
松浦子育て支援センター主査

○議題

議 事

- (1) 計画に基づく具体的事業の進捗状況について：資料1
- (2) 第3期留萌市子ども・子育て支援事業計画の変更について：資料2
- (3) 留萌市こども計画の策定について：資料3

報告事項

- (1) 認定こども園等の利用状況について：資料4

情報提供事項

- (1) こども110番の取り組みについて：資料5

○内容(要旨)

<定刻開始>

<会長挨拶>

<委員退任と新任委員について>

<会議成立の確認> 委員過半数10名出席により会議成立

<職員紹介>

<議事録署名委員の指名> 会長指名により安達、村山委員に決定

<委員の紹介>事務局より紹介

<以降、会長により進行>

< 1 議事 >

(1) 計画に基づく具体的事業の進捗状況について

<資料により事務局から説明>

【質疑】

(会 長) 事業評価全体に対する質問ということで、個別の事業の質問は別途事務局にお願いしたい。全体評価について質問等はあるか。

(会 長) 以前、C評価がかなりあったが、中身を見てみると実施を試みたが希望者がいなかったとか、そういったものもC評価としていたこともあったが、ほとんど評価を下げる必要がないものであったため、今回このような評価になっていることを理解した。

(2) 第3期留萌市子ども・子育て支援事業計画の変更について

<資料により事務局から説明>

【質疑】

(質問・意見等特に発言なし)

(3) 留萌市こども計画の策定について

<資料により事務局から説明>

【質疑】

(会 長) 学校の方から何か意見などあるか。

(副会長) 学校としても配布された端末でアンケートが実施できるということなので、担任の指導のもと問題なく実施ができるものと考えている。確認番号については、子どもと保護者が一致する必要があるということなので、入れ違いなどないように注意したい。

(会 長) 独自の設問については完全オリジナルなのか。

(事務局) 委託事業者において、留萌市の傾向を考慮しより詳細な結果を得るために設定しており、オリジナルの設問である。

(会 長) 計画策定までに議論の場はこれからたくさんあると思うが、せっかく作るのであれば、留萌の傾向をしっかりとらえて、留萌らしい計画となるようにしてほしい。

(委 員) アンケートの対象者について、幼稚園・保育園児やその保護者は対象とならないのか。

(事務局) こども計画については、子どもの意見を聞きながら進めるものであるため、自分の意見や考えをはっきりと伝えることができる小学校高学年、中学生から対象者を設定したところである。

< 2 報告事項 >

(1) 認定こども園等の利用状況について

<資料により事務局から説明>

【質疑】

- (会 長) 認定こども園は今年から始まったものかと思うが、各園の方でなにか変化はあるか。
- (委 員) もとは幼稚園であるが、2号認定の方も今までは預かり保育を利用していたので、基本的には変わらないというのが印象。
- (委 員) もとは保育園であるが同じくあまり大きな変化はない。1号認定が増えたことで、これまで就労等理由がなければ入所できなかったが、お預かりできる幅が広がったかなと思う。ただ、利用者の多くは保育目的である。

< 3 情報提供事項 >

(1) こども110番の取り組みについて

<資料により事務局から説明>

【質疑】

- (会 長) こわいおじさんおばさん運動として実施されていたものかと思うが20年前くらいに始まったものと認識している。当時は注目を集めたものだが、それっきりで有名無実化しているのが現状ということと理解した。少なくとも、現状をしっかりと検証して事業の在り方について改めて考え直す必要があると思う。以前配布しているシールも劣化してかすんでいるかもしれない。例えば通学路上のわかりやすい場所に位置している建物で改めて協力を得られながら、子ども達や親にとってもわかりやすいものにする必要があると考える。現時点で駆け込みの実績はあるのか。
- (事務局) 市の方へは駆け込みの実績はいただいていないが、駆け込んだという事態が起こったことは聞いていない。
- (副会長) 正直、見知らぬ家に子どもが駆け込むということはハードルが高い。知っている家ならともかく、知らない家に行くというのは今の時代難しく、この状態では機能しないかなと感じる。
- (委 員) 自分も子がいるので、通学路上で何かあった時には頼れる場所があったらいいと思う。自分が怖い思いをしたり友達がそういった場面に遭遇した時に助けを求めることができるような。場所はガソリンスタンドもそうだが、会社や飲食店など、とにかく日中空いている場所でなければ意味がないと思う。知らない家に駆け込むのは自分も難しいと思うし、こども110番の家であることを伝えてもやはり行きにくいと思う。駆け込んだ先が留守かもしれないことを考えると、常に人がいる場所であるお店や会社を設定するのがいいと思う。

(委 員) シールが貼ってあったとしても抵抗感はあると思う。意見は同じで通学路上にある一般企業などに協力をもらって駆け込める形を作った方が子ども達も安心して駆け込めると思う。

(委 員) 継続して周知を続けることが重要。春先の登下校訓練で指導ができればより効果的になると思う。

<4 その他 >

(事務局) 今年度の子ども・子育て会議は残り2回実施を予定しているが、任期が本年10月末までのため、次回開催時には新たな委員・任期となる。各団体へは改めて依頼をしたいと考えているので、その際は対応をお願いしたい。また、子ども・子育て会議にて情報提供してほしい事項などあれば事務局まで一報いただきたい。

<終了>

以上